

地区大会にももの申す



近頃の大会は、他からのお客様の招待会でもあるかと思える例がある。大会は地区全体のものであり、ホストクラブの大会ではない。枝葉に走らず、大会開催の根本目的をつかんだ運営が望ましい。

対談 東京 柏原孫左衛門 神戸 直木太一郎

大会の主催者はガバナーである

柏原 この間、ガバナー・ノミニーの方々が集まったとき、地区大会について話題になりましたが、地区大会というのは、どこまでもガバナーが主催してやる会なのですが、近ごろでは、準備委員がすべてやってしまって、ガバナーは床の間の置物みたいに据え置かれ、いわば準備委員が主催するかの如く、それに踊らされるような恰好になっている傾向がある。これではいけない。やはりガバナーが、自分のアイデアを出してやらねばいけないのではないか、とそんな話が出ました。国際大会なども会長が全部主催してやっております。準備は充分しなければいけないが、準備したら会長に渡す。自分がやるような形になってしまっているのではないのです。

直木 昔はその点、割にうまくいってました。というのは、その頃は、ガバナーはその前に大会委員長を引受けられた人が多く、その経験からガバナー自身、大会のやり方をよく知っていたのです。しかし最近では地区も増え、余り大会のことを知らない方でもガバナーになる場合が多くなってきている。それも原因の一つではないかと思えます。

柏原 準備委員の方でも、大会へ実際あまり出たことのない人が担当している場合、ある地区の

間違ったやり方を参考にして、それをまねてしまうこともしばしばある。これは大会ばかりでなくチャーターナイトでも見受けられるんですね。

私、大分前ですが、新潟大火のために東京で大会をやったとき、委員をしたのですが、開会にあたって、「準備は終わりました。これからガバナーにお渡しいたします」とあいさつして、大会開催に移ったことがあります。

直木 京都の第1回大会のとき、網川さんもそう言われましたね。この頃は、大会委員長が、自分で開くような挨拶を最初にやる。(笑)

柏原 たとえば、大会に「司会SAA」と書かれてあるが、ちょっとおかしいのではないか。主催と司会という言葉は若干違うかも知れないが、主催者はあくまでガバナーがしていなくてはならないのです。そこで、この間、ガバナー・ノミニーが集まった席で「みなさん、これからレクプラシッドで学ばれましたら、次は独自の構想で前例にとらわれることなく、大会を開催していただきたい」と申し上げたのです。大会に対して、少し考え方が変わるかも知れませんが、今年あたりから、大分共鳴者もあったようです。

大会の根本目的はなにか

直木 大会というのは、国際ロータリーの方針

をまず説明し、ガバナー・ノミニーを決めたり決議をとったりすることのほか、会員相互の旧交をあためたり、新しい友情を芽ばえさせたり、また発言の場を与えて意見を述べさせる。更にまた講演などからロータリー的なインスピレーションを感じさせるようにする——こういうところに重点が置かれなければいけない。大会の根本目的は以上で尽きるといっていい。

しかし近頃は、大会が他からのお客様の招待会でもあるかと思える例がしばしばあります。大会は地区全体の大会であって、ホストクラブの大会ではないんですから、その点思い違いないようにしたい。自分たちの大会なのに、お客様として招かれるような気分になってしまっているのではないのでしょうか。

大会の日取りにも一つには原因があるのではないのでしょうか。もとは春ひらかれたものです。春だと、ガバナーは前年の7月から10カ月近い経験を積み、地区内の事情のみこめているわけです。ところが最近では10月か、早ければ9月でしょう。ガバナーになってから、2~3カ月後に大会をひらかねばならない。大会の準備は新ガバナーが誕生する前に大部分済ませてしまわねばならない。直前ガバナーにかぶさってくる。しかしそれは自分の主催する大会ではないのですから、大過なくやればいい、ということでマンネリズムになって、力が入らないのではないか、そう思えるのです。

大会開催は春が適当

それから大会の開催月について、もうひとつ気のついた事があります。RIでの規定審議会にのる議案ですが、議案文の送られてくるのが11月頃、これは10月までに済ました大会には当然間に合わない。そこで私は、大会はやはり春がいいと思うのです。365区では、今年の大会を来年2月末にやることになっているが、これは万国博の関係からでもあります。その結果がどう出るか、その試金石となるのではないかと、思うのです。

柏原 2月か3月に大会をひらくとなると、ガバナー・ノミニーを、さらにもう一つ先まで決めておく必要が恐らく生じてくるでしょうね。

直木 その必要が出てくるでしょうが、しかしそれでも、現在の大会は時期が早すぎます。

無駄な費用ははぶこう

柏原 早すぎてやりにくい点も確かにありますね。それからこれは大会の経費ですが、大体、地方で初めて大会開催をひきうけられると、その宣伝が大変です。お金をかけすぎますよ。京都とか名古屋とか、開催をしばしばひきうけるところは割合費用をかけずに済みますけれど。

直木 地方都市と大都市では既存の設備が違います。装飾費なども地方では大分かさむし、いろいろハンディキャップはあるんですね。

柏原 それにしても、もう少し無駄な費用をはぶく必要がありますよ。

直木 「外国人もそう多く来ないのに、万国旗を飾るのはいいとして、万国旗の入場式、あれは少しおかしいと思う」と今田さんでしたか、そういっておられた。その上それに照明をあてる。ガバナーの入場の際にも照明をあてる。そういう演出がはやっているのですね。ちょっとゆきすぎの感じがしますが。

柏原 この前、会長代理でみえたRIの会計をしておられるホリスターさんが、講演される時演壇が明るくて聴衆席が暗いのを注意して「余興と違って、われわれ講演者は聴衆の皆さんと話をするのだから、顔がみえなくてはいけない」といって、会場を明るくするよう注文されましたが、照明ひとつでも演出が過ぎる感じがですね。

大会参加者の人数は

直木 大会参加者は1地区の場合、大体1,000人~2,000人というところが多いですね。

柏原 日本は割と集まりがいいけれど、外国では悪い。外国ではリーダーシップ・フォーラムやなんかでも盛んに大会出席を奨励していますが、日本では、それ程、声を大きくして呼びかける必要がないほど出席率がいいんです。

直木 連合してやるとなると、さらにふえて場所を捜すのに苦労する。1,000~2,000人程度ならいいが、3,000~4,000人となると、地方都市では適当な場所がない。

柏原 それで経費もかさむのですよ。

直木 関東、東北は割と連合大会を開きますが関西方面は少いですね。賛成者が少ないのです。大阪や京都など以外、適当な場所もないわけです。365区は、ともかく京都で60周年のとき大きな連合大会をやりましたが、あまり大勢すぎて、群衆の中にいるようで、人と親しく会うこともできないからご免だ、ということになった。それで今度は369区のほうへ話し合ってますが、どうなりますか。

柏原 戦争中ですが、国際ロータリーの国際大会が1945年のときは141人、その前年は403人で極めて少なかった。

直木 RIの役員だけ集まったのでしたね。

柏原 そうでしょうね。戦争が終って1946年のときは、もう1万人以上でしたが。

直木 そういう特殊な人だけ、その地区の会長幹事をやった人だけが集まるということも、国際大会ではやったでしょうが、普通の日本の地区大会ではどうなんでしょうね。

柏原 特別な場合以外は、皆集まるべきでしょう。家族の方も皆集まる会ですから。皆気持よく出席できるのなら多いほうがいいわけです。

食事代は別にせよ

直木 家族の問題が出ましたが、以前より登録料が高くなったせいか、一家揃って出席できにくくなりましたね。国際大会のように食事代など、必要な人だけ出すようにすれば、負担が軽くなると思うのですが。

柏原 将来は、食事代は別にして、一緒に食事する必要のある人だけ食券を買うということにしないと、日本のような大勢集まる地区大会は無理が出てきますよ。そうすれば費用も安くなるし、子供もつれていけます。食事代が一番費用がかかっているのが現状ですから。

直木 子供も大人と同じ食事代ですからね。

「とみくじ」類似の行為は不可

柏原 大会にしても、チャーターナイトにしても、根本問題をつかんで、あとは新構想でやればいいので、ほかでやったから自分のほうでも、と

真似すると、だんだん横道にそれてしまう。

直木 前回好評だったものをそのまま残して、更に付け加えるから、盛り沢山になる。神戸では青少年問題をとりあげ、その後職業奉仕などもテーマにしましたが、それも忘れられた形になっています。そのほか、500円か1,000円づつ出して、その土地に寄附するなど、東京ではいかがでしたか、例のチャリティ・ショウは、神戸ではよかったですという意見も出ていますが。

柏原 アディショナル・クラブでやったのですが、若干批判も出ています。東京では寄附はいらぬんですよ。寄附しても慈善事業のようなところへもってゆくことになってしまふ。「手続要覧」にある「とみくじ類似の行為」にも若干ふれるし、人寄せとはいえ疑問だ、ということです。

直木 関西では、500円なり1,000円なりを実際に出すのは大会後、クラブ幹事が集める。これでは気が抜けて妙な感じになる。その場ですすのなら、あんなふうなやり方が面白いという意見も出ているのです。

柏原 実際、人寄せになっているかどうか。批判はいろいろあります。

枝葉に走らず根本をつかめ

直木 今度また、RIから、大会2日にわたって9時間は何かやれと改めて通告してきました。

柏原 最近非常にやかましく、大会は2日、余興等を除いて9時間以上やれと強調していますが「手続要覧」にも書いてありますね。日本では割と忠実に実行しています。しかし忠実なのはいいが、大会は毎年同じような形でマンネリズムになり勝ちですから、根本的な精神を生かしたものにしたい。さもないとロータリーらしくない。

直木 講演も大事ですね。近頃、全然ロータリーとは無関係な講演も多いですが、どうも。

柏原 興味本位でない、いい講演というのは、選択がむずかしいですね。この間も、その地方の人で地方弁で面白い話をする人がいるがどうか、と言われたけれど、地方弁ではよそから行った人にはわからないでしょう。とりやめにしました。

直木 よその地区から参加した人の登録料500円ですか。あれは感じがよくないですね。

柏原 地区の協力金を出していないからでしょう。

直木 地区の協力金は、大会の会場費などに当てるので、他地区の参加者とは無関係に必要な費用となるのですよ。

柏原 地区の協力金も現在1,000円~1,500円になってますしね。日本ではどうも少し派手にやりすぎませんか。実質をとらえてやったほうがいい。

直木 パストガバナーを壇上にずらっと並べるのも、現在のように多くなるとおかしくなる。

柏原 東京などでは下へ並んでもらいます。飾り道具代りにするのなら問題だ。(笑い)あれは国際大会のとき、理事だけが壇上に並ぶ。それも初日の午前中だけ、国際協議会のときだけ紹介の意味でね。地区大会でも総会のときだけならまだいいですが。

直木 大会のおみやげなども必要がないし、パンフレットも困る。予備知識として前以て送ってもらえればいいけれど、プログラムももう少し余裕がほしい。息つく暇もないし、自由に話し合える時間もない、ピッチリ詰りすぎている。盛り沢山より簡素な充実がほしいですね。それから来賓が特別大きな花を胸につけたりすることも……

柏原 国際大会のときは、役員の役別に色が変わってあって、札の色で役がわかって便利です。あれを真似たらいいでしょう。先日の麴町・芝のチャーターナイトではそうやりました。チャーターナイトの役員とRIの役員と一般会員の三色にしました。とにかく「手続要覧」の開催方法をもう一度よく読んでいただきたい。しかもガバナーはレクプラシッドで、大会のやり方を学んでくるわけですが、それを帰ってから実行していないのです(笑い)

直木 しかし、あそこでは「大会にはどうやって人を集めるか」そんな内容の話が多いものだから……

柏原 向うでは集まりが悪いからね。日本とは条件が違いますね。

前夜懇談会の戦前と現在

直木 戦前は前夜懇談会へ誰でも自由に出席で

きて、議論も活発に出ましたね。現在は会長・幹事に限られているのでしょ。

柏原 現在は、会長・幹事とか、クラブの代表者だけになりました。クラブがふえましたし、それともう一つ、むかしはインターシティ・フォーラムというものをやっていたのでね。現在はインターシティ・フォーラムや部門別協議会でいろいろ議論できるので、特に前夜懇談会で論議する必要も、以前ほどなくなったわけです。

直木 決議が前以て述べられるのは、矛盾を感じる、という意見が出ていますが。

柏原 決議委員会の当日の決議に「あんな決議を出すつもりではなかったのに」という異論が出ては困るので、予め各クラブの了解を得てまとめるわけです。会長・幹事が全く知らないでいて、出された決議に即座に「賛否」を問われても困るだけだから、一応の了解を得て決議文を拵えて出す。そのほうが良心的ではないか、ということからです。

直木 次の大会開催地なども、クラブ会長の集まる機会がないので、そのときやるわけですね。戦前の自由な性格とは違って、会長幹事の会になってしまいましたが、同じ名称で呼ぶから、非常に前とは違ったことをやってみたいに感じられるのですね。

地元の協力の1例として

直木 今年の大会も、9月頃開く予定のところでは、もう既に準備にかかっているでしょうね。

私、スイスの大会へ出席したことがあるのですが、そのとき一番気持ちよかったことがあります。それはルツェルンの町でしたが、お祭騒ぎをするようなやり方でなく、地味な協力でしたけれど、たとえば花火をやるとき、町全体が燈火を全部消してくれましたね。そういう静かな協力を土地の人がしてくれる、それは実に気持ちいいものでした。日本では協力というと、パッと派手に騒ぐけれど、そういう静かな好意のあふれた協力は考えてくれませんか。ほんとうは表面的な華やかな協力ではなく、地味けれども実質的な好意ある協力をしていただけると嬉しいと思います。

——どうもありがとうございました。